

令和5(2023)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名 水道事業

(単位:百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

(1) 収益的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	料金収入	1,806	1,806	1,814	8	
	その他収入	57	54	57	0	
	計	1,863	1,860	1,871	8	
支 出	人件費	239	212	274	35	・人件費は、退職給付費の増加により増
	減価償却費	687	684	668	▲ 19	・その他支出は、資産減耗費が計画よりも減少したことにより減
	修繕費	220	168	213	▲ 7	
	その他支出	643	772	602	▲ 41	
	計	1,789	1,836	1,757	▲ 32	
経 常 損 益		74	24	114	40	

(2) 資本的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	借入金	0	0	0	0	・その他収入は、太陽光発電設備の増設に向けた設計業務委託に係る国庫補助金等により増
	その他収入	0	9	21	21	
	計	0	9	21	21	
支 出	建設改良費	1,030	389	255	▲ 775	・建設改良費は、工事期間の見直しにより減
	借入金償還金	82	83	82	0	・その他支出は、地方債購入等により増
	その他支出	0	128	120	120	
	計	1,112	600	457	▲ 655	
差 引		▲ 1,112	▲ 591	▲ 436	676	

剰余金残高	1,631		2,244	613	
-------	-------	--	-------	-----	--

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

借入金残高	174		176	2	
-------	-----	--	-----	---	--

経営指標による経営状況

	収益性				安全性		老朽化の状況		
	経営資本 営業利益率 ・経営資本でどれ だけの営業利益 を上げたかで、 高いほど良好	営業収支比率 ・営業活動の能率 で、高いほど良好	料金回収率 ・給水費用が、どの 程度給水収益で賄 えているかを表す 指標	経常収支比率 ・経常的な企業 活動の効率性 で、高いほど良 好	流動比率 ・短期的な支払 能力で、高いほ ど経営基盤は安 定	自己資本 構成比率 ・総資本に対する 自己資本の割合 で、高いほど経営 基盤は安定	有形固定資産 減価償却率 ・償却対象資産 の減価償却がど の程度進んでい るかを表す指標	管路経年化率 ・法定耐用年数(40 年)を超えた管路延 長の割合を表す指 標	管路更新率 ・当該年度に更 新した管路延長 の割合を表す指 標
	(単位: %)								
令和元年度決算値	1.57	119.52	121.88	121.59	1,211.39	86.29	58.30	46.32	0.00
令和2年度決算値	1.14	113.66	115.92	116.97	1,271.30	87.74	57.18	46.32	0.00
令和3年度決算値	0.98	111.72	113.99	114.48	1,729.20	89.81	58.59	46.32	0.05
令和4年度決算値	0.64	107.24	106.17	110.33	2,204.97	90.90	60.69	46.32	0.00
令和5年度決算値	0.34	102.88	106.40	106.52	2,909.36	91.33	62.61	46.32	0.00
全国平均(令和4年度決算値)	—	97.88	106.47	107.33	313.43	80.28	59.51	32.38	0.40
説明	<p>前年度並みの給水収益に対し、人件費や修繕費が増加したこと等により、事業の収益性を示す経営資本営業利益率、営業収支比率、経常収支比率の3指標は悪化したが、給水費用は料金収入によって賄えていることに加え、営業利益・経常利益とも確保できていることから経営状況は健全であるといえる。</p> <p>また、経営の安全性を示す流動比率、自己資本構成比率は、全国平均を上回っており、経営基盤は安定しているといえる。</p> <p>一方、有形固定資産減価償却率では、償却資産の減価償却が約6割まで進んでいるが、日頃の保守点検によって各資産の劣化状況を把握し、更新計画に反映させながら順次更新に取り組んでおり、特に問題はない。また、管路経年化率に対して管路更新率が低いが、これについても、管路の劣化調査の結果や(公社)日本水道協会による研究結果等を基に標準使用年数(60年)を設定して更新することとしているため、特に問題はない。</p>								

※ 営業収支比率: 単年度営業収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 料金回収率: 事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況を示す100%以上が必要

※ 経常収支比率: 単年度収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 流動比率: 短期的に支払うべき債務を支払える現金等がある状況を示す100%以上が必要

水道事業 目標の達成状況

1 財務面に係る評価

目標の達成状況

	【目標】 毎期、経常利益を確保し、健全な運営を確保します。
決算値	114百万円
評価	A
評価に係る説明	目標どおり経常利益を確保したため、A評価とした。

2 事業面に係る評価

(1) 目標の達成状況

	計画業務量(年間供給水量)	設備の故障等による計画外給水停止件数
目標値	R5年度 21,860千m ³	R5年度 0件
実績値	R5年度 21,953千m ³	R5年度 0件
評価	A	A
評価に係る説明	目標を上回る年間供給水量を達成したため、A評価とした。	目標どおり、計画外給水停止を発生させなかったため、A評価とした。


(2) 取組実績等

※下線は新規事項

経営方針	令和5(2023)年度の実績	令和6(2024)年度の実績予定
ハード・ソフト両面の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○設備更新計画等に基づく設備の更新 <ul style="list-style-type: none"> ▶1系排水処理池汚泥掻寄機更新工事 (R3～R5、鬼怒) ▶<u>薬品注入設備更新工事 (R5～R8、鬼怒)</u> ▶<u>薬品沈澱池水中機械設備更新及び点検修繕工事 (R5～R6、鬼怒)</u> ▶<u>取水場電動弁更新工事 (R5～R6、鬼怒)</u> ○耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶管路施設耐震化等検討会の開催 (5月、10月、11月、2月) ○感染症対策等の徹底とBCPに基づく業務継続体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶時差出勤やテレワーク、Web会議の推進 ○実践的な防災訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶災害対応訓練(地震)の実施 (北那須:4月、鬼怒:6月) ▶受水市町等との共同防災訓練 (北那須:9月、鬼怒:12月) ○応急復旧体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶水道災害相互応援物資リストの提供(日本水道協会) ▶<u>令和6年能登半島地震において応急給水活動を実施</u> ▶<u>日本水道協会からの要請を受け、輪島市において給水車による応急給水活動を実施</u> ▶<u>活動期間は18日間、職員23名で実施</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○設備更新計画等に基づく設備の更新 <ul style="list-style-type: none"> ▶<u>2系薬品沈澱池コントロールセンター盤等更新工事 (R6～R8、北那須)</u> ▶薬品注入設備更新工事 (R5～R8、鬼怒) ▶薬品沈澱池水中機械設備更新及び点検修繕工事 (R5～R6、鬼怒) ▶取水場電動弁更新工事 (R5～R6、鬼怒) ○耐震化等の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶管路施設耐震化等検討会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・<u>管路更新の検討</u> ○感染症対策等の徹底とBCPに基づく業務継続体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶時差出勤やテレワーク、Web会議の推進 ○実践的な防災訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶災害対応訓練 ▶受水市町等との共同防災訓練 ○応急復旧体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶水道災害相互応援物資リストの共有(日本水道協会)

経営方針	令和5(2023)年度の実績	令和6(2024)年度の実績予定
水質管理の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○水安全計画の定期的な見直し等によるリスク対応の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶水安全計画に基づく水質管理の実施状況について検証作業を実施(北那須:6月、鬼怒:5月) ○水質検査の精度管理の向上 <ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査計画の作成・HP公表(3月) ▶水質検査結果のHP公表(毎月) ▶水道GLPを取得した民間検査機関へ水質検査業務を委託(R4～R6、北那須、鬼怒) ○指定解除後の廃棄物の処分に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ▶県の方針に基づき、<u>鬼怒水道事務所保管の指定解除後の廃棄物を処分</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○水安全計画の定期的な見直し等によるリスク対応の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶水安全計画に基づき、水質管理の実施状況について検証作業を実施 ○水質検査の精度管理の向上 <ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査計画の作成・HP公表 ▶水質検査結果のHP公表(毎月) ▶水道GLPを取得した民間検査機関へ水質検査業務を委託(R4～R6、北那須、鬼怒) ○指定解除後の廃棄物の処分に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ▶県の方針に基づき、<u>北那須水道事務所保管の指定解除後の廃棄物処分</u>
経費削減や適切な料金設定等による財務基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な料金設定の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶北那須水道用水供給事業の料金について、算定期間満了に伴い見直しを実施し、据置きとした。 ○供給水量の維持・拡大に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ▶<u>北那須水道用水供給事業の料金見直しにおいて、県水利用の働きかけにより供給水量を維持</u> ▶北那須及び鬼怒水道連絡会担当者会議において、水道施設等の利活用について情報交換を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○供給水量の維持・拡大に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ▶<u>受水市町等との水道施設等の最適な利活用に係る協議・検討</u>

経営方針	令和5(2023)年度の実績	令和6(2024)年度の実績予定
組織力の強化	<p>栃木県企業局技術職員人材育成基本方針に基づく取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ▶<u>職位別研修体系に基づく研修の実施</u> ○職員の技術力向上や業務に必要な資格取得の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶局内水道技術者研修会の開催(2月) ▶日本水道協会等の研修会参加及び資格取得支援(水道技術者専門別研修、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者等) ○デジタル技術の活用とOJTによる技術継承の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶管路施設GISを活用した防災訓練の実施 ▶ドローンを活用した高所等の点検(水管橋、調整池等) ▶OJTによる技術継承 ○業務に必要な人材確保 <ul style="list-style-type: none"> ▶再任用等職員の配置(北那須2名、鬼怒2名) ▶採用の周知を図る取組み <ul style="list-style-type: none"> ・工業高校訪問(9校)による水道事業/工業用水道事業の魅力等のPR ・現場見学会の開催(12月) ・技術職インターンシップの受入れ(小山工業高等専門学校等4名、8月) 	<p>栃木県企業局技術職員人材育成基本方針に基づく取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ▶職位別研修体系に基づく研修の実施 ○職員の技術力向上や業務に必要な資格取得の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶局内水道技術者研修会の開催 ▶日本水道協会等の研修会参加及び資格取得支援 ○デジタル技術の活用とOJTによる技術継承の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶管路施設GISを活用した情報の共有 ▶ドローンを活用した高所等の点検 ▶OJTによる技術継承 ○業務に必要な人材確保 <ul style="list-style-type: none"> ▶社会人経験者の積極的な採用及び再任用等職員の計画的な配置 ▶採用の周知を図るため、以下の取組を継続 <ul style="list-style-type: none"> ・大学や工業系高校訪問による水道事業/工業用水道事業の魅力等のPR ・技術職現場見学会の実施 ・工業系高等学校のインターンシップ受入れ
長期的展望からの経営改革	<ul style="list-style-type: none"> ○民間活力の導入推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査等業務委託(R4～R6、北那須、鬼怒) ○広域連携等の取組推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶水道基盤強化検討会議への参加(8月、11月、2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○民間活力の導入推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査等業務委託(R4～R6、北那須、鬼怒) ○広域連携等の取組推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶水道基盤強化検討会議への参加

経営方針	令和5(2023)年度の実績	令和6(2024)年度の実績予定
<p data-bbox="172 268 521 300">SDGs 達成への貢献</p> <div data-bbox="241 427 450 635">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○安全・安心な水道用水の安定供給の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶施設の適正な管理・運用 ▶水質検査計画に基づく定期的な水質検査の実施 ○環境負荷低減(温室効果ガス削減等)に貢献 <ul style="list-style-type: none"> ▶浄水場における太陽光発電を継続 (北那須 R5発電電力量:54,047kWh) ▶<u>太陽光発電の増設・新設に向けた太陽光発電設備 詳細設計業務委託を実施(北那須、鬼怒)</u> ▶<u>民間事業者によるマイクロ水力発電の導入に向け 協定を締結(北那須)</u> ▶<u>管理本館1階照明設備更新工事を実施し、照明設備 のLED化を推進(北那須)</u> ▶資源リサイクル推進のため、浄水発生土を資源として有効利用(北那須・鬼怒合計:792t) 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全・安心な水道用水の安定供給の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶施設の適正な管理・運用 ▶水質検査計画に基づく定期的な水質検査の実施 ○環境負荷低減(温室効果ガス削減等)に貢献 <ul style="list-style-type: none"> ▶浄水場における太陽光発電を継続(北那須) ▶<u>太陽光発電設備の増設(北那須)及び新設(鬼怒)</u> ▶<u>民間事業者によるマイクロ水力発電の導入</u> ▶照明設備のLED化の推進 ▶資源リサイクル推進のため、浄水発生土を資源として有効利用

3 総合評価

自己評価等							
1 財務面に係る評価 目標の達成状況 ・目標どおり経常利益を確保した。		(2)事業の取組実績等 ・薬品注入設備更新工事等を適切に実施した。 ・河川への油流出事故を想定した訓練や供給停止に伴う応急給水訓練を市町等と共同で実施した。 ・北那須水道用水供給事業の料金見直しを実施し、据置きとした。 ・太陽光発電設備の導入に向けて詳細設計業務委託を実施した。					評価
2 事業面に係る評価 (1)目標の達成状況 ・計画業務量は目標を上回り、計画外給水停止は目標どおり(0件)となった。							A
評価委員会の評価等							
【財務面】 経常利益を確保し、目標を達成した。						評価	
【事業面】 年間供給水量及び計画外給水停止件数ともに目標を達成した。						A	
【取組実績】 薬品注入設備更新工事、応急復旧体制の強化等、ハード・ソフト両面の強靱化の取組が図られているほか、太陽光発電設備の導入を進める等、環境負荷低減に取り組んでいる。							
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)		
自己評価	A	A	A				
評価委員会の評価	A	A	A				

今後の取組課題・改善点等

- ・供給水量の維持、拡大や適切な料金設定による収入の確保、効率的な工事実施等による経費削減を行い、財務基盤の強化に取り組む。
- ・安全で安心な水道用水の安定供給を図るため、計画的な設備の更新や耐震化を進めるとともに、実践的な防災訓練を実施しハード・ソフト両面の強靱化に取り組む。
- ・持続可能な社会の実現に向けて、水道事業を通じたSDGs達成に貢献する。

○ 収支の状況

(1) 収益的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	料 金 収 入	計 画 額		1,815	1,812	1,806	1,801	1,801
		当 初 予 算 額		1,815	1,812	1,806		
		決 算 額	1,826	1,828	1,841	1,814		
	そ の 他 収 入	計 画 額		51	58	57	52	52
		当 初 予 算 額		51	49	54		
		決 算 額	165	100	64	57		
支 出	人 件 費	計 画 額		248	243	239	237	233
		当 初 予 算 額		248	206	212		
		決 算 額	263	257	225	274		
	減 価 償 却 費	計 画 額		699	674	687	698	715
		当 初 予 算 額		699	703	684		
		決 算 額	667	684	688	668		
	修 繕 費	計 画 額		186	229	220	237	200
		当 初 予 算 額		186	153	168		
		決 算 額	191	126	183	213		
	そ の 他 支 出	計 画 額		666	702	643	627	645
		当 初 予 算 額		666	701	772		
		決 算 額	824	617	631	602		
経 常 損 益		計 画 額		67	22	74	54	60
		当 初 予 算 額		67	98	24		
		決 算 額	46	244	178	114		
剰 余 金 残 高			1,708	1,952	2,130	2,244		

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

(2) 資本的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	借 入 金	計 画 額	0	0	0	0	0	0
		当 初 予 算 額	0	0	0	0		
		決 算 額	0	0	0	0		
	そ の 他 収 入	計 画 額	1	1	0	0	0	0
		当 初 予 算 額	1	1	1	9		
		決 算 額	1	0	4	21		
支 出	建 設 改 良 費	計 画 額	468	468	399	1,030	384	878
		当 初 予 算 額	468	468	377	389		
		決 算 額	871	402	238	255		
	借 入 金 償 還 金	計 画 額	118	118	106	82	58	48
		当 初 予 算 額	118	118	106	83		
		決 算 額	126	116	106	82		
	そ の 他 支 出	計 画 額	8	8	0	0	0	0
		当 初 予 算 額	8	8	68	128		
		決 算 額	8	0	59	120		
	差 引	計 画 額	▲ 593	▲ 593	▲ 505	▲ 1,112	▲ 442	▲ 926
		当 初 予 算 額	▲ 593	▲ 593	▲ 550	▲ 591		
		決 算 額	▲ 1,004	▲ 518	▲ 399	▲ 436		
借 入 金 残 高			480	364	258	176		

○ 経営指標による経営状況

(単位:%)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
経営資本営業利益率	決算値	1.57	0.98	0.64	0.34		
営業収支比率	決算値	119.26	111.72	107.24	102.88		
料金回収率	決算値	120.79	113.99	106.17	106.40		
経常収支比率	決算値	121.64	114.48	110.33	106.52		
流動比率	決算値	1,716.86	1,729.20	2,204.97	2,909.36		
自己資本構成比率	決算値	84.38	89.81	90.90	91.33		
有形固定資産減価償却率	決算値	58.92	58.59	60.69	62.61		
管路経年化率	決算値	32.87	46.32	46.32	46.32		
管路更新率	決算値	0.00	0.05	0.00	0.00		

○ 財務面に係る目標の達成状況

(単位:百万円)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
毎期、経常利益を確保	決算値		244	178	114		
	評価		A	A	A		

○ 事業面に係る目標の達成状況

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
計画業務量 (年間供給水量)	目標値		21,972千m ³	21,938千m ³	21,860千m ³	21,800千m ³	21,800千m ³
	実績値	22,389千m ³	22,123千m ³	22,276千m ³	21,953千m ³		
	評価		A	A	A		
設備の故障等による計画 外給水停止件数	目標値		0件	0件	0件	0件	0件
	実績値	0件	0件	0件	0件		
	評価		A	A	A		